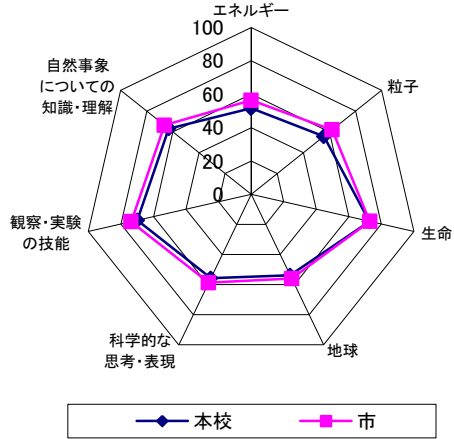


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	エネルギー	51.6	56.4	49.9
	粒子	55.6	62.0	57.4
	生命	72.6	72.9	67.1
	地球	53.8	56.0	48.5
観点別	科学的な思考・表現	55.7	58.8	52.1
	観察・実験の技能	69.9	73.8	67.6
	自然現象についての知識・理解	63.2	66.5	61.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	●本校正答率は、市の正答率より4. 8ポイント低い。参考値とほぼ同じである。 ●熱量・電力量の問題について、市の正答率より10ポイント低い。公式を用いて計算するところに課題が見られる。 ●振り子の思考問題について、市の正答率より、約10ポイント低い。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの 全体的に、やや低い傾向があるため、以下の点は、どの領域も共通で指導の充実を図る。 ①わかりやすい授業を展開する。(教材・授業研究) ②実験・観察等を重視する。 ③授業のまとめ、定着の工夫をする。(授業プリントや家庭学習など) ④公式や法則など、正しく求められるよう反復練習する。
粒子	●本校正答率は、市の正答率より6. 4ポイント低く、参考値と比べても1. 8ポイント低い。この粒子の領域について、4つの中で一番指導を要する領域である。 ●電離についての問題が、市の正答率より35ポイントとたいへん差があり低い。知識の定着に課題がある。	全体的に、やや低い傾向があるため、以下の点は、どの領域も共通で指導の充実を図る。 ①わかりやすい授業を展開する。(教材・授業研究) ②実験・観察等を重視する。 ③授業のまとめ、定着の工夫をする。(授業プリントや家庭学習など) ④重要語句等、定着を目指し繰り返し反復練習する。
生命	●本校正答率は、市の正答率より0. 5ポイント低いが、ほぼ同じと考えられる。また参考値より5. 5ポイント高い。 ○動物のからだのつくりとはたらきに関しては、市の正答率を越え、全体としても生命の領域は正答率が高い。	この領域では次の①～③は共通で指導の充実を図る。 ①わかりやすい授業を展開する。(教材・授業研究) ②実験・観察等を重視する。 ③授業のまとめ、定着の工夫をする。(授業プリントや家庭学習など) ④生徒の理解度に応じて、発展的な学習を取り入れる。
地球	○本校正答率は、市の正答率より2. 2ポイント低いが、参考値より5. 3ポイント高い。	共通で指導の充実を図る。 ①わかりやすい授業を展開する。(教材・授業研究) ②実験・観察等を重視する。 ③授業のまとめ、定着の工夫をする。(授業プリントや家庭学習など) ④知識・理解の基礎的内容を重視して、ワークシートなどで単元的な流れを確認する活動を取り入れる。